ホッキ味噌(4人前)



≪材料≫

ホッキ貝 (中)	8個
赤味噌	7 5 g
みりん	大さじ1、小さじ1
酒	大さじ1
ねぎ	100g
サラダ油	小さじ 1/2
卵 (中)	2個

≪作り方≫

- ①きれいに砂を取り除いたホッキ貝 の身を包丁で刻む。
- ②刻んだ貝に、ねぎ・赤味噌・みりん・酒を合わせよく混ぜる。
- ③フライパンにサラダ油を敷き②を 強火で2分程度よく炒めたあと、溶 き卵を合わせて炒める。余分な水分 を飛ばす。

≪Point≫

- ・ホッキ貝の食感を残すため刻み過ぎないのがポイント。
- ・強火で一気に炒めると余分な水分が出ません。

ホッキサラダ(4人前)



≪材料≫

ホッキ貝 (中)	4個
たまねぎ	1/2 個
にんじん	適量
塩	1つまみ
マヨネーズ	大さじ2
練りワサビ	小さじ1
白ごま	少々

≪作り方≫

- ①内臓処理したホッキ貝を半身にし 4つ切りにする。
- ②①の貝を30秒ほど湯通しし、冷水で冷してしっかり水切りする。
- ③たまねぎは薄くスライスし、にんじんは千切りにする。
- ④③に塩をふって塩もみし、すばやく冷水で流す。
- ⑤マヨネーズと練りワサビを混ぜ、
- ④にあえ、白ごまをふる。

ホッキなます(4人前)



≪材料≫

ホッキ貝(中)	4個
だいこん (おろし用)	200g
にんじん・だいこん (千切り用)	各 5 g
ねぎ	20 g
らっきょう酢	大さじ2

≪作り方≫

- ①内臓処理したホッキ貝を半身にし 4つ切りにする。
- ②①の貝を30秒ほど湯通しし、冷水で治してしっかり水切りする。
- ③だいこんおろしを作る。だいこん おろしは適度に水を切る。
- ④だいこんとにんじんを千切りにし、ねぎは輪切りにする。
- ⑤ボイルした身と③、④を混ぜ、仕上げにらっきょう酢をあえる。

$\ll Point \gg$

- ・お好みによってりんご酢や酢を使ったり、塩、砂糖を加えてください。
- ・作りたてはだいこんの辛味がありますので、調理後1時間以降が食べごろです。

北等月

百石町海業協同組合女性部 監修平成26年1月作成、28年1月第2回改訂



ホッキ貝は12月から3月までの季節の食材で、昔から浜の家庭の食卓には欠かせない食材の一つであります。

このたび百石町漁協女性部では 統一レシピを作成しました。

各ご家庭での調理の参考にして いただけたらと思います。

このレシピをもとに、おいらせの 冬の味覚「ホッキ貝」をおいしく 食べていただければ幸いです。

ホッキ飯(20人前:1升炊)





≪材料≫

米	9 合	酒	大さじ2
もち米	1 合	砂糖	大さじ2
ホッキ貝 (中)	12個	にんじん	5 0 g
白だし醤油	大さじ4	ごぼう	1 0 0 g
八方汁	大さじ4	塩	少々
みりん	大さじ4	昆布	少々

≪作り方≫

- ①米ともち米をとぎ、ザルで水切りしておく。
- ②ホッキ貝は2枚に開き、大きめの千切りにする。フライパンにホッキ 貝を入れ、白だし醤油、八方汁、みりん、酒、砂糖を入れ、ホッキ貝が ピンク色になるまで中火で煮る。煮汁は取っておく。
- ③にんじん、ごぼうはささがきにする。
- ④①を炊飯器に入れ、②のホッキ貝の煮汁と水で米同量にする。
- **⑤**③をまぜ、昆布を上にのせて炊く。昆布をとって調味料を入れて、② の貝とご飯を混ぜ合わせる。

≪Point≫

・ホッキが固くなるので、煮すぎには注意してください。

ホッキのお吸い物(4人前)



≪材料≫

ホッキ貝(ロ	中) 2個
だし昆布	1 枚
白だし醤油	大さじ1、小さじ1
酒	小さじ2
みりん	小さじ1
塩	少々 (3つまみ)
ねぎ	適量

≪作り方≫

- ①下ごしらえしたホッキ貝を身とヒモに分け、身は半身に開く。半身に開いた身を飾り切りする。
- ② 7 0 0 m 1 のお湯にだし昆布を入れ、①を入れて30秒ほど茹でる。
- ③湯通しした貝はいったん上げ、② で出た出汁に白だし醤油、酒、みり ん、塩を入れ味付けをする。
- ④最後に出し汁をお椀に入れ、貝を 半個分(半身、ヒモ)入れ、刻んだ ねぎを添える。

ホッキのバター炒め(4人前)



≪材料≫

ホッキ貝 (中)	6個
塩コショウ	少々
酒	小さじ1
バター	10 g
チンゲン菜	2束

≪作り方≫

- ①下ごしらえしたホッキ貝にお酒を振りかける。
- ②チンゲン菜をざく切りにする。
- ③フライパンを温め、バターを溶かし、 貝とチンゲン菜を入れて貝がピンク色 になるまでさっと炒め、塩コショウを 振りかけなじませる。
- 4月に火が通ったら完成。

≪Point≫

- ・ホッキのうま味を出すために、味付けは薄目がオススメです。
- ・焼きすぎると身が固くなりますので、調理は手早く。
- ・お好みでレタスを添えたり、乾燥ハーブなどを入れるとよりおいしくなります。